



緩和ケアだより

平成20年 8月22日 第3号

「がんの痛みの治療教室」が始まります！

医療用麻薬(オピオイド)は、がん性疼痛を取り除く有効な鎮痛薬です。しかし医療用麻薬に対して、「中毒になるのでは」「寿命を縮めるのでは」といった誤解を持っていらっしゃる患者さんも少なくはなく、痛みを我慢してしまう方もいらっしゃいます。そこで、当院緩和ケアチームでは、医療用麻薬に対する誤解を取り除き、がんの痛みに対して少しでもご理解頂けるように、患者さんや一般市民向けの「**がんの痛みの治療教室**」を月1回計画いたしました。第1回目は**8月27日(水)午後2時から1時間程度、病院正面玄関ホール(院内処方薬受取カウンター前)**にて開催します。治療教室では、当院緩和ケアチームの医師、薬剤師、看護師が、がんの痛みとはどういうものか、医療用麻薬とはどういう薬か、緩和ケアとはどういうものか、等についてわかりやすく説明します。病院スタッフの方もぜひ一度お立ち寄り下さい。また、患者さんやご家族の方に広く周知して頂けるようご協力をお願いします。

がんの痛みの治療教室 ご案内



日 時 : 8月27日 水曜日 午後2時～
場 所 : 病院正面玄関ホール(院内処方薬受取カウンター前付近)
内 容 : がんの痛みとは? 痛い時はどうすればいいの?
医療用麻薬ってどんな薬? 緩和ケアってなんだろう?
など

秋田大学医学部附属病院 緩和ケアチーム

緩和ケアQ&A

Q.WHOのがん性疼痛治療法について正しいものはどれでしょう?

- (1) 第2段階の薬剤を用いる際には、第1段階の薬剤は中止する。
- (2) 各段階の薬剤はいずれも効果が現れるまで、少なくとも3日間は使い続ける。
- (3) 長時間作用性の強オピオイドはレスキューとして用いない。

答えはウ
ラにあります



デュロテップMTパッチが発売になりました！

デュロテップパッチ(フェンタニル)が、従来のものに製剤的な変更を行い、デュロテップMTパッチとして7月7日に新たに発売されました。従来のパッチとMTパッチでは大きさ、厚さ、**パッチに表示されている薬の量(mg)が違います**が、薬の成分、効果は今までのものと変わりありません。当院ではMTパッチはまだ採用されていないため、従来のパッチを今まで通り使っていただくことになりますが、今後患者さんが持参薬としてMTパッチを持ち込んでくる場合が考えられます。MTパッチから従来のパッチに切り替える際はご注意ください。

放出速度*	デュロテップ [®] パッチ		デュロテップ [®] MT パッチ	
	外 袋	パッチ	外 袋	パッチ
12.5 μ g/hr		2.5mgパッチ半面貼付 =	2.1mg 	
25 μ g/hr	2.5mg 	 =	4.2mg 	
100 μ g/hr	10mg 	 =	16.8mg 	

お知らせ

7月に「疼痛管理ポケットマニュアル」が配布されました。オピオイドや鎮痛補助薬の使用、副作用コントロールなどで迷ったときは、ぜひ参考にしてください。

また、緩和ケアチームでは9/9(火)に院内向けの第2回緩和ケア研修会を開催予定です。皆様ぜひご参加下さい。



緩和ケアQ&Aの答え

- (1) ×. 第1(NSAIDs等)、第2段階(リン酸コデイン)の薬剤を併用することにより、鎮痛効果はより強くなります。
- (2) ×. 薬剤によって効果発現までの時間は異なります。痛みが取れるまでこまめに評価を行い、薬剤の種類や量の変更を行っていきましょう。
- (3) ○. 長時間作用型の強オピオイド(MSコンチン、オキシコンチン、モルペス等)は、効き始めるまでに時間がかかり、量が多過ぎた時に副作用が長く残るなどの理由から、レスキューには使いません。

秋田大学医学部附属病院 緩和ケアチーム

TEL: 6223

メールアドレス: kanwa-t@hos.akita-u.ac.jp